

	課題分析	授業改善策
1年	<p>【生活科】</p> <p>1学期は、「がっこうをたんけんしよう」「きれいにさいてね わたしのはな」「きせつとなかよし はる・なつ」の3つの単元を扱い、児童自身の興味・関心を大切にしながら主体的に学べるよう児童の発言を軸にして工夫した。</p> <p>季節に関わる活動が多く、児童の興味・関心が高まっている時に活動を行うなどの、計画通りに進めることが難しい場面もあった。</p>	<p>【生活科】</p> <p>単元間のつながりを意識しながら、児童が主体的に関わり、気付きや学びが深まるような活動や肯定的な声かけを継続的に取り入れる。</p> <p>さらに、年間計画を参考に、自然の変化や児童の声に耳を傾けながら、その都度活動の内容や順序を調整できる柔軟な授業づくりを心がける。計画を柔軟に見直し、児童の興味・関心が高まったときすぐに対応できる準備や環境設定が重要である。</p>
2年	<p>【生活科】</p> <p>1学期の生活科では、「めざせ野菜作り名人」「生き物はかせになろう」の単元を中心に、自分の選択した野菜や生き物について観察したり、調べて詳しくなったことをまとめたり、友達に共有したりする活動を行った。</p> <p>児童の関心の高さによって活動内容に差がうまれてしまうことに課題がある。</p>	<p>【生活科】</p> <p>児童の「見たい」「知りたい」「行きたい」「やってみたい」など、前向きな気持ちを学習に取り入れられるように、導入や題材の提示を工夫する。</p> <p>また、実際に児童が経験、体験ができるような学習の場の設定に取り組む。</p> <p>次年度以降の学習に活かせるように、計画の立て方や見通しのもち方、まとめの方法などは経験を積む必要がある。</p>
3年	<p>【総合的な学習の時間】</p> <p>「自然がいっぱい向山」として、1学期は「ヤゴ救出大作戦」に取り組み、2、3学期は「大根はかせになろう」を設定している。昨年度までの生活科での経験を活かし、課題設定や情報収集、まとめ、表現活動に取り組むことができている。さらに、児童の興味関心を活かし自ら課題設定を行うことができるようにすること、活動を通してさらなる探求につなげられるよう支援をしていくことが必要である。</p>	<p>【総合的な学習の時間】</p> <p>課題設定においては、課題への関心を高めるよう導入や題材の提示の方法を工夫していく。また、初めの課題解決を通してさらなる課題を見出させ、次の学習の機会を確保していくことで児童自身の自己決定の経験を積み、主体的に探究する姿勢を育てていけるように支援する。</p>
4年	<p>【総合的な学習の時間】</p> <p>地域の福祉を年間の探求課題とし、1学期は「向山チャレンジ調査隊」で地域の介護施設で交流活動をするため、高齢者が楽しめるような遊びを企画、準備、実行をした。</p> <p>自分たちでやりたいことを計画したりアイデアを出したりすることが得意な児童が多い。しかし、それらの実現化に向けて、何を、どれだけの時間、どんな準備が必要か、考えたり振り返ったりすることには課題がある。</p>	<p>【総合的な学習の時間】</p> <p>学習のサイクルを視覚化し、今自分たちが何をしているのか、今後どのような活動につながっていくのかを理解させることで、見通しをもって学習に臨めるようになることを考える。</p> <p>また、1学期の振り返りで、見通しについて課題意識をもたせることで、1時間ごとに活動を自ら振り返り、自分たちで計画の必要性に気付き、計画を立てる力を高めていけるようにする。</p>
5年	<p>【総合的な学習の時間】</p> <p>SDGsを年間の探究課題とし、「地球環境のために</p>	<p>【総合的な学習の時間】</p> <p>探究のサイクルが連続するよう、単元の振り返り</p>

	<p>自分たちができること」の探究に取り組んでいる。昨年度の経験を生かし、自分たちでやりたいことや必要なことを考え、前向きに学習を進めようとする児童が多い。</p> <p>しかし、1単位時間の学びを振り返り、次時の見通しを立てる自己調整力や、活動の中から更なる課題を見付け、次の探究のサイクルにつなげる課題発見力には課題がみられる。</p>	<p>の共有方法を工夫したり、更なる課題発見につながる人材や資料の開発などを心掛けたりする。</p> <p>各教科の学習においても、自分の学びを振り返り、次時の学びに生かす経験や、疑問をもとに課題を設定する経験を重ねることで、自己調整力や課題発見力を高めていく。</p> <p>授業中、できるだけ児童に任せ必要な際に助言をする、児童の発想や活動を予想して準備をしておくなど、教師の在り方も見直していく。</p>
6年	<p>【国語】</p> <p>令和7年度全国学力・学習状況調査の結果は、概ね東京都・全国を上回っている。ただし、「情報の扱い方に関する事項」では、情報と情報の関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことなどにおいて課題が見られる。</p> <p>【算数】</p> <p>令和7年度全国学力・学習状況調査の平均正答率は全ての項目において東京都・全国を上回っている。ただし、「図形」については、図形の構成の仕方や図形の計量についての考察に関する内容について課題がある。</p> <p>【理科】</p> <p>令和7年度全国学力・学習状況調査の平均正答率は全ての項目において東京都・全国を上回っている。しかし、自然の性質や規則性を適用したものづくりについて、学習したことを活用したり、解決の方法を発想したりしながら、問題を解決することに課題が見られた。</p> <p>【総合的な学習の時間】</p> <p>改築を迎える校舎での生活を教材化した『改築校舎プロジェクト』に取り組み、「自分がやりたいこと」を学習課題として設定し実践している。しかし現状では自らの経験に基づく願望のような内容が多く、最高学年としての役割を意識した課題設定が少ない傾向にある。</p>	<p>【国語】</p> <p>「構造と内容の把握」の段階において、文章の要点となる語や中心文を意識しながら、話し手（書き手）の意図を短い言葉で把握できるようにするために、接続語を意識したり、言葉を統合して言い換えたりしている点に着目できるようにする。</p> <p>【算数】</p> <p>基本的な学習内容の理解についてはある程度の定着が見られるものの、既有知識を繋げて解決する点に課題が見られるため、問題解決の道筋や思考過程を可視化し、その妥当性を協働的に検討することができるようになる。</p> <p>【理科】</p> <p>電気の回路のつくり方について考察する問題について課題が見られたことから、電気を通すつなぎ方に関する知識などをきちんと定着させるとともに、それぞれの状況に応じて課題を解決させるための観察や実験の方法を発想し、図や言葉で表現できるようにする。</p> <p>【総合的な学習の時間】</p> <p>課題設定の段階において、判断する材料が自らの経験や既有知識に頼らざるを得ない状況を改善するために、自分たち6年生以外の考えにも触れさせることを目指す。保護者や地域の方、卒業生や下級生など、幅広くインタビューやリサーチ活動を行うことで、「これからの向山小にむけて」という新たな視座を獲得することで、自他ともに探求したい、する価値のある課題設定を可能にできるようにしたい。</p>
専科	<p>【図工】</p> <p>1学期の図画工作科では、テーマを基に活動をする授業を展開した。多くの児童がテーマに沿って、自分のイメージをもち、「こう表現したい」という気</p>	<p>【図工】</p> <p>改善策として、授業内での対話を重視した指導をする。この「対話」は友人との対話や指導者との対話のみならず、自分との対話や作品との対話を指</p>

	持ちをもって活動することができた。一方で、なにをどう表現したらいいかわからないという児童の姿も見られた。	す。友人の作品のよいところからアイデアを得て着想したり、授業のはじめに本時の活動について児童自身が考えを練ったりする時間をつくる。
--	--	---